

突然、「大伴家持生誕1300年記念」と言われても分からない方が多いかも知れませんが、万葉集と言えは聞いたことがあるという方は多いはず。おとおもものやかもち」と読みます。その万葉集の集大成をされた方ですが富山県のご出身です。しかし、1300年前というとの気の遠くなる感覚です。その記念の年、富山県と神奈川県が文化シンポジウムを横浜開港記念会館で開いたのです。いつもですとこの類の会は空席が目立つのですがなんと2席とっていただいた位の満席度でした。パネラーは女優の五木路子さんと富山の国文学館館長の4人ですが、五木さんは自身がロングランで続けている「横浜ローザ」をスクリーンに映しながらの講演。黒岩知事もまた「おさん伝説」と「アクアの肖像」を映しながら神奈川県文化について大熱演でした。富山も利賀村の民家をそのままステージにして世界中の演劇愛好者を呼ぶ演劇のメッカにしてしまったのです。横浜市民ミュージカルはいい宣伝になりました。

このところ、去年から今年にかけて杉田劇場は大改修、県民ホールは1年休み、関内ホールも大改修とステージを使うグループは苦勞しました。しかし県民大ホールは6月「ヘンデルとグレーテル」がリオオープンングになり赤い靴ジュニアコーラスにご指令がありました。素晴らしい機会ですから皆で出演したいですね。

横浜の林市長も横浜は劇場が少ないので考えなければと言っており、県知事も横浜を日本のブロードウェイにしたいということを常に言っています。

先日の新聞に2007年に28億円の私財を投じて名古屋にクラシックの音楽ホールを建てた話が載っていました。私も食事に行ったことのあるカレー屋の会長なのです。どこの町に行っても目立つカレーハウスCOCO壺番屋の創業者の宗次徳二さんです。「クラシックには人を優しくさせる力がある」という持論なのです。

彼の経歴を見ると生みの親も知らず児童養護施設で暮らしているところを養父母に引き取られたのですが、その後養父のガンブル狂が災いし苦しい生活を余儀なくさせられたのです。義父が亡くなり、彼は高校も登校前にお豆腐屋で働いたりしたのですが、ある日義母が黒白テレビをもらってきてスイッチを入れるとメンデルスゾーンのバイオリン協奏曲が流れていたのです、彼が言うにはそれが貧しさから生じる鬱憤をはらしてくれたのだそうです。

彼は高校卒業後夢中で働き結婚し、奥さんと喫茶店を開き、やがてCOCO壺番館の一号店を名古屋に作り、全国展開したのです。20年間で500店を達成し、会長を退き音楽ホールを建てたという立志伝中の人です。ココ壺で働いていたように今でも朝4時に起きて街中掃除をし、千円、2千円の安い料金で若手の音楽家を育てホールを満席にする。愛知県の学校の吹奏楽部に楽器を寄付するなどしているのです。この宗次ホールはクラシック音楽の月刊誌「音

「こどもの日コンサート」みなとみらい大ホール
5月5日(祝) 第1回 1300~1400 ★お申し込みは事務局へ
小学生~高校生 1000円 大学生以上 2500円
第2回 15:30~16:20 10歳~高校生 1000円 大学生以上 2500円



今後のスケジュール

4/15(日)~17(火) 国際シニア合唱祭 ゴールデンウェーブ in 横浜 横浜みなとみらい大ホール 出演 ザ・シワクチャーズ横浜 17日(火) Gブロック4番 11時~
5/5(祝) こどもの日コンサート 横浜みなとみらい大ホール 全指定席 第1回 13時~14時 小学生~高校生 1000円 大学生以上 2500円 第2回 15時30分~16時20分 0歳より 高校生 1000円 大学生以上 2500円
6/3(日) 神奈川県民ホール オペラ ヘンデル&グレーテル 赤い靴ジュニアコーラス 出演
7/15(日) あかいくつ定期演奏会 杉田劇場 詳細後日

↑「おぎやー基金」赤い靴ジュニアコーラス・テングダーフット

楽の友」によると昨年の年間公演回数374回で2位の東京文化会館小ホールを引き離して全国一位になったというのです。また自分は980円のシャツ、500円のネクタイで海外に行くが、あの高価なバイオリンの名器「ストラディバリオス」を購入し有望な音楽家に貸し出したりもしているのです。才能があっても恵まれないというアーティストは大勢います。そのような方に親身になって面倒を見ています。出来ないことですね。

前述の黒岩知事の自慢がもう一つありました。小田原文化財団江之浦測候所というのだそうです、奇想天外のようですが、屋上が石舞台になっているのです。ガラス光学も取り入れて冬至の日の朝、昇る太陽が舞台の下に作ったトンネル70mに差し込むのだそうです。石舞台には観客席もあるということです。

もう25年も前、事業団全体で横浜の夜明け「マルコポーロの夢」を公演しました。山下公園のマリンタワー側「石のステージです」500名出演はかつてないことでした。照明にも苦勞しましたが野外劇ということの達成感も味合うことが出来ました。

さて、31日(土)みなとみらいのクイーンズスクエアで「おぎや献金・愛のコンサート」に初めて参加しました。これは生まれながらに障害を持つ子供たちが生まれたら、その幸せを心身障害児に分けてあげてください。これが優しい「おぎや献金」の趣旨で、発足以来54年も続いているのです。神奈川県でも1100人の産婦人科の先生がおられ、今日のようなイベントを開催し、献金をお願いしているのです。横浜では14回続いているのです。13回には302万円を寄付しています。賛助出演も「DR NAKANO & THE BAND」で医師の方々のバンド、そして、「YCC GOSPEL LOVER」そして今年から赤い靴ジュニアコーラスが参加しました。皆いい顔をして一生懸命歌い、さわやかな歌を周辺にお届けしました。 2018・3・30 団長 松永 春